



平成30年度 画像保存セミナー

日本写真学会画像保存部会（画像保存研究会・デジタルアーカイブ研究会）は、次世代に伝えるべき写真画像およびその他の画像記録物の確実な保存を目指し、そのための知識の普及と技術の確立を目的として活動を行っております。また、その情報を広く発信する場として、画像保存セミナーを開催し、今年で35回目を迎えます。

本セミナーでは、銀塩写真を中心とするプリント材料から、デジタル化された画像データについて、その保存と活用について広く取り扱っており、参加者の皆様のお役に立つように、基礎的な知識、最新の情報、活用例など、多岐にわたる内容をお届けしています。本年度は、オリジナル写真を保存する意義とデジタル化による活用について、具体的な取り組みをされている機関から報告していただくとともに、デジタル化で必要なカラーマネージメントの基礎知識、データ保存媒体としてのテープストレージの最新技術動向についての講演を企画いたしました。

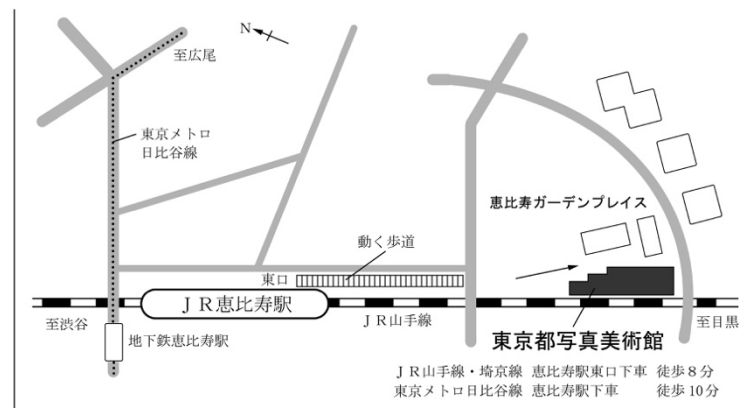
例年通りセミナー終了後、講演者と参加者が自由に情報や意見の交換をして頂ける懇親会を設けております。画像保存に関心のある方、関連分野の多くの方々のご参加を賜りたく、案内申し上げます。

日時：平成30年10月26日（金）

10時00分～16時30分 <9:30受付開始>

場所：東京都写真美術館ホール

東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内



主催 一般社団法人 日本写真学会

協賛 日本写真芸術学会／東京都写真美術館

一般社団法人 文化財保存修復学会／情報保存研究会

公益財団法人 日本博物館協会／一般社団法人 日本画像学会

一般社団法人 日本印刷学会／一般社団法人 画像電子学会

一般社団法人 日本オプトメカトロニクス協会

セミナープログラム

9:30 受付開始

10:00 開会挨拶 セミナー実行委員長

10:05 講演 1. 写大ギャラリーにおける写真の保存と利用の取り組み

|

東京工芸大学芸術学部 吉田 成

11:10

日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 深瀬 宰

写真教育の現場でオリジナル・プリントに触れる意義は大きい。東京工芸大学芸術学部写大ギャラリーでは所蔵する1万点超の作品の保存と、展示・教育活用の両立を目的に、高精細デジタル撮影と、システム管理を行っている。今年度システム改修を行うに際し、これまでの実績と今後の展望について事業受託者と共同で発表を行う。

11:15 講演 2. 文化庁国立近現代建築資料館のデジタル化の取り組みと

|

Archivematicaによるデジタルデータ保存について

12:05

国立近現代建築資料館 藤本 貴子
帝国データバンク史料館 橋本 陽

近現代建築資料館では、保存・活用のため所蔵資料のデジタル化を行っている。本報告では、データの仕様や長期保存といった建築資料館の抱える課題を共有する。また、採用を検討しているデータベースシステムAtoMと連動させることのできるシステムArchivematicaによるデジタルデータ保存の試行を紹介する。

— 昼食休憩 (85分) —

13:30 講演 3. デジタルアーカイブにおける色とカラーマネジメントに関する初歩

|

カメラ・写真技術解説家 水口 淳

14:20

デジタルアーカイブで重要なカラーマネジメントは、基本レベルでは環境が整っている。しかし、専門知識を持つ担当者がいない組織も多く、活用が困難となっている場面も見受けられる。実際にカラーマネジメントの基礎知識を必要とする方のために、あらためて初歩から解説する。

14:25 講演 4. テープストレージの最新技術動向

|

富士フイルム株式会社 記録メディア事業部 立川 篤

15:15

アナログな技術と思われる磁気テープであるが、企業のデータストレージ用に進化し、世界のデータ保存を支え続けている。市場ニーズと技術特徴からテープが必要とされる理由をひも解き、大手クラウドでの活用事例や、テープストレージの最新技術を紹介する。

— 休憩 (20分) —

15:35 講演 5. 明治期の博物館における写真の撮影と利用

東京国立博物館 田良島 哲

16:25

文化財の情報を記録するに当たって、写真は当初から有力な手段として活用された。明治初年に設立された博物館でも、早くから視覚的な記録手段として写真撮影が行われ、さまざまな形態で利用された。本報告では現在に残る原板、焼付、器具類などを通じて、文化財と写真との長く密接な関係について紹介する。

16:30 閉会挨拶 日本写真学会会長

*各講演時間には質疑・応答の時間を含みます。なお、講演者および他の参加者の迷惑となるだけでなく、著作権の問題を含みますので主催者以外の写真・ビデオの撮影、録音はご遠慮願います。

*閉会后、講演者と参加者の自由な情報交換の場として懇親会（下記参照）を行います。奮ってご参加ください。

参加申し込みについて

セミナー参加費（講演要旨集代を含む）

日本写真学会および協賛学協会々員	……………	6,000 円
非会員	……………	8,000 円
学 生	……………	2,000 円

（日本写真学会の賛助会員所属で非個人会員の方の取り扱いに関しては、賛助会費の口数に応じた人数枠に対して申し込み順に会員扱いとなります。枠を超えた分は非会員扱いとなります。会員枠が残っているかどうかにつきましては、ご面倒でも事務局にお問い合わせ下さい。）

定 員 180 名（定員になり次第締切りますのでお早めにお申し込み下さい）

懇親会 講演者と参加者の自由な討論の場、および参加者相互の情報交換や交流を深める場として、セミナー終了後に下記のとおり懇親会を開きます。参加ご希望の方は郵便振替用紙の該当欄にその旨ご記入の上、会費をお送り下さい。

日時：当日 10 月 26 日 16 時 45 分より

場所：東京都写真美術館 1F 「MAISON ICHI」

会費：2,000 円

申込締切 平成 30 年 10 月 12 日 (金)

申込方法 このプログラムに同封されている郵便振替用紙に、必要事項をご記入の上、セミナー参加費をお振り込み下さい。また、懇親会に参加ご希望の方は会費も合わせお振り込み下さい。
(郵便局備え付けの振替用紙でもお申し込み頂けます。その際は参加費区分、懇親会参加の有無を通信欄にお書き下さい)

日本写真学会ホームページ <http://www.spstj.org/> から参加申込ができます。トップページの「最新イベント情報」、あるいは左肩「イベント」よりお入り下さい。その場合でも、参加費のお支払は、上記のように事前に郵便振込みでお願い致します。

なお、一旦振り込まれた参加費の返却は致しかねますので、ご都合が悪くなった場合には代理の方の参加等でご対処をお願い申し上げます。

送り先 〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内
(一社) 日本写真学会 Tel. 03-3373-0724
郵便振替口座番号 : 00130-6-72818 Fax. 03-3299-5887

日本写真学会にご入会下さい

この機会に、会員でない皆様には当学会に入会されることをおすすめします。
セミナー当日、受付に入会申込書がありますので、ご記入の上お申し込み下さい。
また、学会 HP (下記 URL) から申し込みます。

年会費 : 正会員 8,500 円 学生 3,000 円

一般社団法人 日本写真学会 事務局
〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5
東京工芸大学内
Tel. 03-3373-0724 Fax. 03-3299-5887
URL <http://www.spstj.org/>

このセミナーは、下記の組織で企画されました。

一般社団法人 日本写真学会
会 長 : 中野 寧 副会長 : 加藤 隆志 山田 勝実

画像保存セミナー実行委員会

委員長 : 大関 勝久 (名古屋大学)
委 員 : 上田 耕一郎 (東京工芸大学) 大林 賢太郎 (京都造形芸術大学)
河野 純一 (元コニカミノルタ) 白岩 洋子 (白岩修復工房)
清野 晶宏 (IMAGICA) 高橋 則英 (日本大学)
谷 昭佳 (東京大学史料編纂所) 宮長 貴旨 (アルメディアオ)
山口 孝子 (東京都写真美術館) 吉田 成 (東京工芸大学)

(五十音順)